

都市再生整備計画 事後評価シート
門真市南西地区

令和3年3月

大阪府門真市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名	門真市		地区名	門真市南西地区			面積	187ha		
交付期間	平成27年度～令和1年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	359.5百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路事業(北島東地区アクセス道路、第二京阪道路改修)、高質空間形成施設(門真第9水路)、高次都市施設(第七中校区地域協働センター)									
	新たに追加した事業		提案事業	まちづくり活動推進事業(門真南駅周辺まちづくり活動推進調査)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業		基幹事業	高次都市施設(第七中校区地域協働センター)			平成28年9月の市政方針において、今後の施策の方針が示され、大幅な施政方針の転換があり、予定していた(仮称)地域協働センター整備について、市の方針として事業を凍結することとしたため。			高次都市施設整備の指標を削除			
			提案事業	なし			-			-			
交付期間の変更		当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	都市機能の誘致を目的としたまちづくりの組織の設立数	団体	2	H26	3	R1	モニタリング	3	○	あり なし	北島東地区の事業実施に伴い、近隣地区の事業実施に対する熟度が高まった。	-
	指標2	歩行者及び自転車の事故件数	件	14	H28	10	R2		1	○	あり なし	新たな道路を整備したことで、歩行・自転車走行空間が確保され、事故件数が減少した。	-
	指標3	親水空間整備事業における満足度	段階/5段階	2.78	H26	3.00	R1		3.00	○	あり なし	せせらぎ水路を整備することで、市民が交流する場を提供できた。しかしながら、評価時点において、全区間の供用開始ができていなかったため、目標数値を下回った。現時点においては、全区間で供用開始しているため、目標達成している。	-
	指標4	企業誘致による区画整理区域内における就労人口の増加	名	10	H27	400	H30		400	○	あり なし	土地区画整理区域内に4棟の物流施設が建設され、区域内の就労人口が増加した。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	北島東地区の事業実施に伴い、近隣地区及びその周辺のまちづくり機運が高まっている。門真南駅周辺のまちづくりについての住民アンケート結果を踏まえ勉強会を開催した。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	門真南駅周辺のまちづくりに向けた勉強会を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	引き続き、門真南駅周辺のまちづくりの事業化に向けた検討を行う。		
	持続的なまちづくり体制の構築	都市機能の誘致を目的としたまちづくりの組織(準備組合)の設立				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	設立されたまちづくり組織に対し技術支援を実施し、土地区画整理事業の推進をバックアップしていく。		

様式2-2 地区の概要

門真市南西地区(大阪府門真市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
○門真市南西部地域の交通拠点・幹線道路沿道を活かした商業・業務機能等の充実を図り、公民協働による新しい魅力を発信するまちづくり ・交通拠点及び幹線道路沿道における商業・業務機能が充実したまちづくり ・歩行・自転車走行空間確保による交通安全対策 ・地域の交流及び憩いの場となる自然と調和した親水空間の整備 ・第二京阪道路を活かした商業施設の誘致を促進し、魅力ある複合拠点を形成することを目的とする	都市機能の誘致を目的としたまちづくりの組織の設立数 単位：団体	2 H26	3 R1	3 R1
	歩行者及び自転車の事故件数 単位：件	14 H28	10 R2	1 R1
	親水空間整備事業における満足度 単位：段階/5段階	2.78 H26	3.00 R1	3.00 R1
	企業誘致による区画整理区域内における就労人口の増加 単位：名	10 H27	400 H30	400 R1

・基幹事業：高質空間形成施設(親水空間) 門真第9水路改修事業

・基幹事業：道路 北島東地区アクセス道路整備事業

・基幹事業：道路 門真団地接続道路整備事業

・提案事業：まちづくり活動推進事業 門真南駅周辺まちづくり活動推進調査

・基幹事業：道路 第二京阪道路側道改修事業

・関連事業：土地区画整理事業 門真市北島東土地区画整理事業

・関連事業：大阪府門真市石西町住宅建替事業(第1・2期)(府事業)

凡例

- 都市再生整備計画区域
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業
- 高質空間形成施設
- 道路
- まちづくり活動推進調査
- 土地区画整理事業
- 府営住宅建替事業

まちの課題の変化

- ・第二京阪道路沿道において、実施された土地区画整理事業(物流施設を誘致)地区周辺の道路が併せて整備(拡幅・歩道設置)されたことにより、周辺地域の東西方向のつながりが確保され、災害発生時の地域住民及び緊急車両の動線が確保された。
- ・門真第9水路の整備を行うとともに、各宅地からの生活排水について、下水道への接続工事を併せて実施したことにより、異臭・害虫の発生はなくなり、また、自転車・歩行者の安全確保及び緊急車両が通行可能な幅員も確保された。
- ・門真南駅周辺のまちづくりについての住民アンケート結果を踏まえ勉強会を開催した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・第二京阪道路沿道においては、スプロール型の民間開発が懸念されることから、引き続き、計画的なまちづくりを目指す。
- ・門真南駅周辺のまちづくりの事業化に向けた検討を引き続き行う。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	●		本市の交流拠点施設と連携し、地域住民が主役となって活躍できる地域活動拠点施設の整備	歩行・自転車走行空間確保による交通安全対策	大幅な施政方針の転換により、(仮称)地域協働センター整備事業が凍結となったため、目標を削除し、門真団地接続道路整備事業に係る目標を新たに、追加した。
B. 目標を定量化する指標	●		地域や市民活動に参加している市民の割合を22.6%から30.0%に増加	歩行者及び自転車の事故件数が14件から10件に減少	大幅な施政方針の転換により、(仮称)地域協働センター整備事業が凍結となったため、指標を削除し、門真団地接続道路整備事業に係る指標を新たに、追加した。
C. 目標値		●	-	-	-
D. その他(計画区域の拡大)	●		計画区域:173ha	計画区域:187ha	隣接する門真住宅を含んだ区域において、持続可能で利便性の高いまちづくりをめざすためには、土地区画整理事業との一体的な整備が効果的であるため

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	北島東地区アクセス道路整備事業	173.5	道路新設	130	道路新設	事業費の減額	影響なし	●	
	第二京阪道路側道改修事業	51.5	道路改修	51.5	道路改修	-	-	●	
	門真団地接続道路整備事業			84.4	道路新設	事業の追加	事業の追加に伴い、目標等を追加	●	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設									
高質空間形成施設	門真第9水路改修事業	149.0	水路改修	75.0	水路改修	事業費の減額	影響なし	●	
高次都市施設	(仮称)第七中校区地域協働センター整備事業	303.4	公共施設整備			事業の削除	事業の削除に伴い、目標等を削除	-	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)		目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	○	●	あり	なし
指標1	都市機能の誘致を目的としたまちづくりの組織の設立数	団体	まちづくり組織を集計	0	H16	2	H26	3	R1	モニタリング		モニタリング		
										事後評価	確定見込み ●	3	事後評価	○
指標2	歩行者及び自転車の事故件数	件	門真警察へのヒアリングにより集計	-		14	H28	10	R2	モニタリング		モニタリング		
										事後評価	確定見込み ●	1	事後評価	○
指標3	親水空間整備事業における満足度	段階/ 5段階	門真市が実施する「市民ご意見番アンケート結果」より算出	2.70	H24	2.78	H26	3.00	R1	モニタリング		モニタリング		
										事後評価	確定見込み ●	3.00	事後評価	○
指標4	企業誘致による区画整理区域内における就労人口の増加	名	区画整理事業者へのヒアリングにより集計	10	H16	10	H27	400	H30	モニタリング		モニタリング		
										事後評価	確定見込み ●	400	事後評価	○

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	門真市北島東土地区画整理事業の事業実施に伴い、周辺地域のまちづくりに対する熟度が向上したと考えられるため	
指標2	新たな道路が整備されることで、歩行者及び自転車の交通が分散されたことで減少したと考えられるため	
指標3	せせらぎ水路を整備することで、市民が交流する場が提供され、市民の満足度が向上したと考えられるため	
指標4	門真市北島東土地区画整理事業区域内において、物流施設の建設がされたことにより増加したと考えられるため	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・北島東地区の事業実施に伴い、近隣地区及びその周辺のまちづくり機運が高まっている
- ・門真南駅周辺のまちづくりについての住民アンケート結果を踏まえ勉強会を開催した

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
門真南駅周辺のまちづくりに向けた勉強会を実施	予定どおり実施した	<実施頻度> 年4回程度 <実施時期> 四半期毎 <実施結果> 門真南駅周辺のまちづくりに向けた事業手法等を説明し、まちづくりに対する理解を高めることができた	門真南駅周辺のまちづくりの事業化に向けた検討を引き続き行う
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
都市機能の誘致を目的としたまちづくりの組織(準備組合)の設立	予定どおり実施した ●	まちづくり組織への技術支援を実施	門真市北島東第2地区土地区画整理準備組合	設立されたまちづくり組織に対し引き続き技術支援を実施し、土地区画整理事業の推進をバックアップしていく
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1		指標2		指標3		指標4				
指標名		都市機能の誘致を目的としたまちづくりの組織の設立数		歩行者及び自転車の事故件数		親水空間整備事業における満足度		企業誘致による区画整理区域内における就労人口の増加				
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見			
基幹事業	北島東地区アクセス道路整備事業	○	門真市北島東土地区画整理事業の事業実施に伴い、周辺地域のまちづくりに対する熟度が向上したことで、新たなまちづくり組織が設立されたと考えられる	◎	新たな道路が整備されることで、歩行者及び自転車の交通が分散されたことで事故件数が減少したと考えられる	-	せせらぎ水路を整備することで、市民が交流する場が提供され、市民の満足度が向上したと考えられる	○	門真市北島東土地区画整理事業区域内において、物流施設の建設がされたことにより就労人口が増加したと考えられる			
	第二京阪道路側道改修事業	○		-		○						
	門真団地接続道路整備事業	○		◎		-						
	門真第9水路改修事業	-		-		◎						
提案事業	門真南駅周辺まちづくり活動推進調査事業	-		-		-		-		-	-	-
関連事業	土地区画整理事業											

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	設立されたまちづくり組織に対し引き続き技術支援を実施し、土地区画整理事業の推進をバックアップしていく			
-------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
門真南駅周辺におけるまちづくりを推進し、本市南部の中心拠点となるような商業・生活サービス機能を誘導する必要がある。	門真南駅周辺のまちづくりに対する住民アンケート結果を踏まえ勉強会を開催した。まちづくりの事業化に向けた検討を引き続き行う。		
土地区画整理事業地区周辺道路について、大型車両等が通行できるよう、道路拡幅、歩道設置及び路盤改良等の道路整備が必要となる。	土地区画整理事業(物流施設を誘致)の実施に併せ、地区周辺道路の拡幅、歩道設置及び路盤改良等が実施された。		
土地区画整理事業地区周辺地域について、特に東西方向のつながりが不足しているため、東西方向の動線確保に係る整備が必要である。	土地区画整理事業(物流施設を誘致)の実施に併せ、地区周辺の道路整備が実施され、周辺地域の東西方向のつながりが確保され、災害発生時の地域住民及び緊急車両の動線が確保された。		
門真第9水路を憩いの場として整備・提供することで人が集まり、コミュニティの活性化を図るとともに、自転車・歩行者の安全確保及び緊急車両も通行できるような整備が必要である。	各宅地からの生活排水について、下水道への接続工事を併せて実施したことにより、異臭・害虫の発生はなくなった。また、自転車・歩行者の安全確保及び緊急車両が通行可能な幅員も確保された。		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	まちづくり活動への支援	まちづくりの事業化に向けた検討を引き続き行う。	

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	都市機能の誘致を目的としたまちづくりの組織の設立数	団体	2	H26	3	R1	確定 ●	3	○	あり			
指標2	歩行者及び自転車の事故件数	件	14	H28	10	R2	確定 ●	1	○	あり			
指標3	親水空間整備事業における満足度	段階／5段階	2.78	H26	3.00	R1	確定 ●	3.00	○	あり			
指標4	企業誘致による区画整理区域内における就労人口の増加	名	10	H27	400	H30	確定 ●	400	○	あり			
指標5							確定 ●			あり			
							見込み			なし			
その他の数値指標1							確定 ●			あり			
							見込み			なし			
その他の数値指標2							確定 ●			あり			
							見込み			なし			
その他の数値指標3							確定 ●			あり			
							見込み			なし			



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	土地区画整理事業が実施されたことで、近隣地区の事業実施に対する熟度が高まり、「都市機能の誘致を目的としたまちづくりの組織の設立数」が達成された。	
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	門真南駅周辺のまちづくりについての住民アンケート結果を踏まえ勉強会を開催できた。	
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)